

第60回 全国野生生物保護活動発表大会

売木村の村花「ササユリ（準絶滅危惧種）」

を守っていこう！

～売木小中学校の児童・生徒と
地域住民や村との協働による～



わたしたちのふるさと売木村



「売木村」って、どんな村？

- 長野県最南端の村
となりを愛知県と接する
- 標高1000～1300の山々に囲まれた
標高800mからの高原盆地！
- 春の山菜や
夏のトウモロコシ、野菜は名物
- 天然温泉やキャンプ場、宿泊施設
- 人口500人を割る（令和4年）
長野県で2番目に人口の少ない村



日本の原風景がそこにある



「売木小中学校」って、どんな学校？

- 小学生18名、中学生12名 全校30名の小中併設校
(一つの学校内に小学校と中学校が一緒にある学校)
- 入学式や音楽会、運動会など多くの行事は、小学生と中学生が一緒に参加します。
- 東京などの都市圏から、
親元を離れて売木小中学校に通う
山村留学生も5名います。
- 全校児童生徒が、みんな仲よしです！



『ササユリ』ってどんな植物？

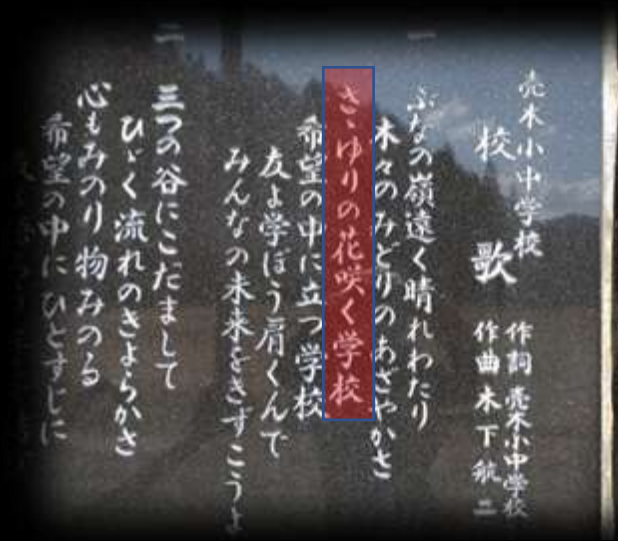


- 日本特産の日本を代表する
ユリ科ユリ属の球根植物
- 発芽から初花を咲かせるまでに
7年以上かかる
- 野生動物による食害や
除草作業などによって
数を減らす貴重種
- 長野県の準絶滅危惧種（NT）

『ササユリ』保護の歴史



- 昭和35年（1960）売木小中学校の
校歌の歌詞にも登場
- 平成元年（1989）売木村の「村花」に指定
- 平成5年（1993）売木村が保護活動開始
（村有志もその後参加）
- 平成24年（2012）売木小中学校児童も
保護活動に参加



- 平成27年（2015）みどりの少年団の活動
小学校4年生以上が参加
- 令和5年（2023）中学生も保護活動に参加

「みどりの少年団」による保護活動

- 平成27年（2015）

下伊那農業高等学校
の生徒らと小学生が、
鱗片培養で育てた球
根や種子を採取して
育てた苗を、役場や
小中学校の校庭斜面
に植える活動開始



平成27年（2015）年10月

10/17（土）
南信州

ササユリの培養球根を定植



下農高生が売木村の小学生
とササユリの球根を定植

売木村小中校

下農高生が訪れ小学生と

ながら定植した。
同小中学校の佐々木
榮子校長によると、同
校では高学年の小学生
が「緑の少年団」の活
動として、ササユリの
種をポットにまいて育
てた苗をグラウンドの
土手に植えている。種
から育てると定植する
までに6、7年かかる
という。ことしは花が
たくさん咲いて、色づ
きもよかった。飯田の
方から見にくる人もい
る」と語った。

飯田市鼎名古屋の下
伊那農業高校園芸クリ
エイト科3年（38人）
の代表5人が16日、売
木村小中学校を訪れ、
絶滅危惧種に指定され
ているササユリの球根

120個を同校の小学
5、6年生11人と一緒
に定植した。
同校園芸クリエイト
科では10年ほど前に売
木村からササユリの増
殖を依頼され成功し3
年ほど同校に植えてい
た。しかし、その後、
交流も途絶えていたこ
とから、菊原文典教諭
（43）が植物バイオテ
クノロジーの授業の中
で生徒たちと培養を繰
り返し、4年間かけ培
養球根を栽培すること
に成功した。

培養球根について説
明した加藤和さん（18）
は「バイオテクノロジ
ーで培養すると早くて
3年くらいで花が咲
く。寒天の培地に肥料
のほか、バナナやリン
ゴ、ナシなどを混ぜる
と成長がいい。来年、
きれいな花が咲くこと
を楽しみにしている」
と語った。

菊原教諭は「ササユ
リの増殖を何とかした
い気持ちです」とわっ
てきた。昨年、花が咲い
たので、売木村に返し
てあげたかった。生徒た
ちは植物バイオテクノ
ロジーの授業の中やわ
つてきた成果を出すこ
とができ、大変だがある
のではと話していた。

現在の保護活動

* 教育委員会・守る会ら村民のご指導による

- ① 5～6月 つばみ付近に目印をつける（伐採から守るため）
- ② 6～7月 前年に採取した種をまく（小学生）
- ③ 7月 種から育てた苗を
校庭斜面に植える（中学生）
- ④ 7～8月 校庭のササユリ群落の
下草刈り（中学生）
- ⑤ 10月 種の採取



令和8年6月 前年に採取した 蒴果（さくか・果実）と種子の観察



前年に採取した蒴果（果実）から 種子を取り出す



種子をポットに植える



発芽したササユリ



発芽して 1～3年のササユリ



ササユリが 種子から成長する様子



ササユリの定植（平成27年当時）



令和5年8月 ササユリ群落の下草刈り



蒴果（果実）をつけたササユリを
切らぬよう慎重に作業する生徒たち



今では校庭斜面に毎年100株ほどの
ササユリが咲き誇る群落に！



今年度の新たな成果！

ササユリの株が増えてきた！

- ・ 令和5年度本大会参加をきっかけに、さらにササユリを増やそうと、令和6年6月より中学生が150～200株ほどの苗の定植を始める。
- ・ 令和7年にも実施
- ・ 令和8年6月の苗の定植活動で、令和6年に定植した場所で苗の定着を確認
- ・ 草の根を分けながら確認したところ、新たに70～90株を確認
- ・ 中学生が新たに始めた活動の成果を喜ぶとともに、地道ながらも保護活動を継続することの大切さを実感した。

信濃毎日 新刊

地域面は16—19面

2024年(令和6年)

国内発

出身 世界で飛躍

6月12日

規正

を跳び技を見せる「ダブ

国会議

松本市出身の若者2人

日に飛躍中 地域面中信

水曜日

調査研

が見送

の実行犯から新聞を渡されて
知った。「ほうせんとして何
も考えられなくなった。ボツ
初、河野さんが犯人視され
た。

つていれば、
「ほしいとお願ひした」と話
(黒川 豊)



今にも花が咲きそうなササユリを前に、苗を植える生徒

自分に思いをはせ、村外に出ていたとしても「花を見に村に戻りたい」

7年後 楽しみに 売木 ササユリの保護活動

下伊那郡売木村の売木中学校の生徒約20人は11日、同校の敷地で、県版レッドリストの準絶滅危惧種に分類されている村花・ササユリの保護活動をした。ササユリの株の周りに生えた雑草を取り除き、新たに苗を植えた。

へささゆりの花 咲く学校～
売木小中学校の校歌にも歌われているササユリ。かつて同校敷地内に自生していたが株数が減り、2012年から児童生徒が保護活動を始め、現在約100株が植わっている。毎年6月中下旬に薄いピンク色の花を1週間ほど咲かせており、現在、つぼみがふっくらと膨らんだ状態だ。

生徒たちはこの日、村公民館主事の渡辺久美さん(61)に教わりながら、特定外来生物のオオキンケイギクを抜き取り、種から育てたササユリの苗を植えた。ササユリは花が咲

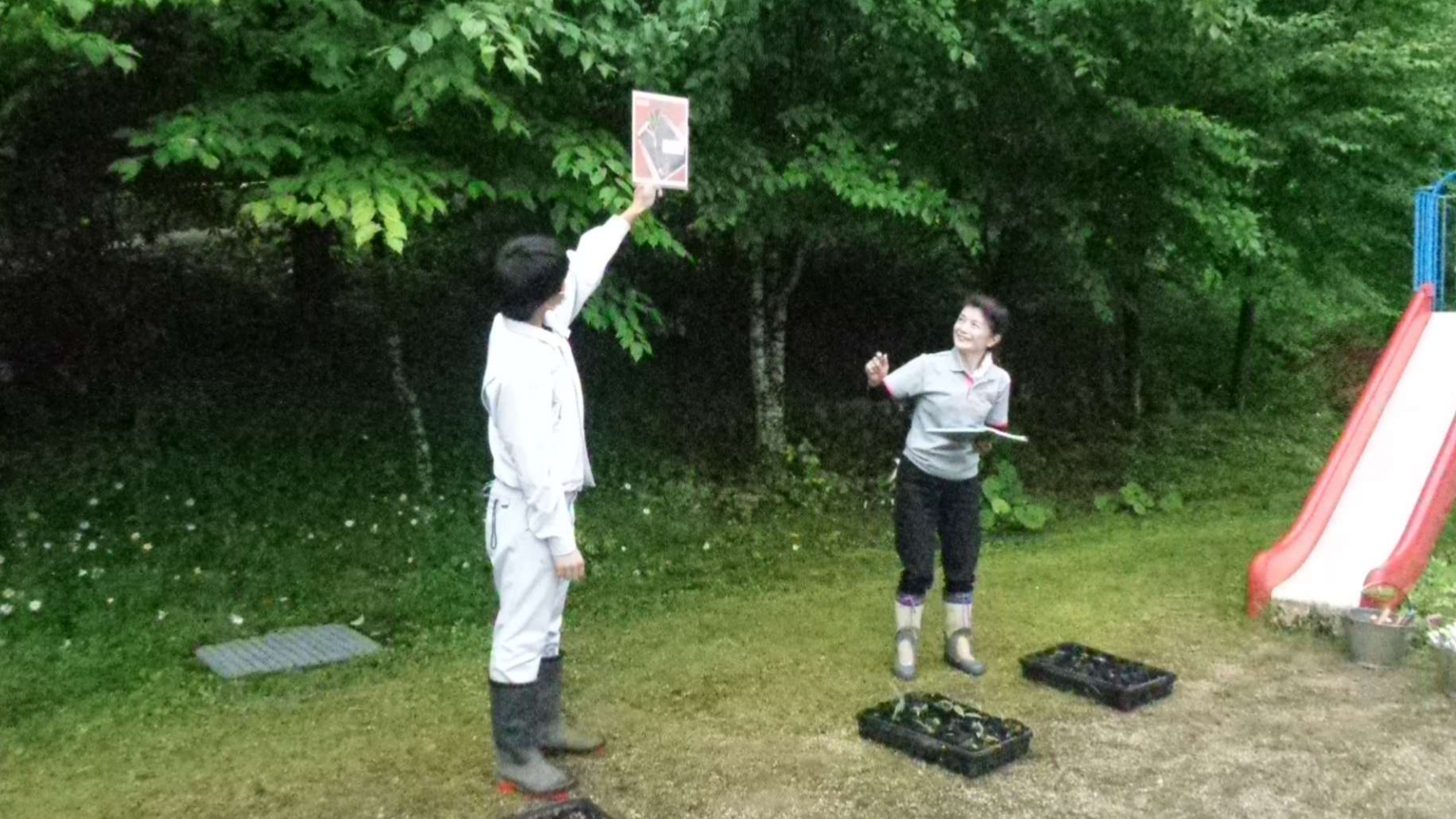
は生徒に「7年後には見に来るんだぞ」と呼びかけた。

「小さい頃から見てきたササユリの保護に携われてうれしい」と2年の福田溪太さん(13)。「7年後はど

める公取委が、代金を適切に支払っていないことが原因で、
に支払っていないことが原因で、
荷主への検査に踏み切った形だ。
関係者によると、橋本建設は、
はメーカーから仕入れた管工
つながらる恐れのある行為を確
怪癖も顕れる。
送られたのは、関東地方を中
に確認され、公取委は東京
中央区の本社と関東地方の
送センター、支店が4カ所
入った。親会社の橋本建設

令和8年6月4日 苗の定植











令和6年6月定植時



令和8年6月 定着した株



今後の課題

私たちの願い

- ・さらにササユリを増やしていくことができないか。
- ・売木村全体でササユリを守っていくことができればいいな。

そのために

- ・種蒔き、育苗、定植を続けていく。
- ・ササユリの生態や育ちやすい成育環境について調べる。
- ・そのために、村内外のササユリの分布も調べたい。
- ・多くの村民のみなさんに、ササユリに対する関心を持っていただくために、売木小中学校の文化祭で呼びかけを実施。
- ・保護活動を村の公民館報やケーブルテレビで取り上げていただき、多くの村民の方々に知らせた。

いつまでも守っていきたい「村の宝」

